

C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成23年9月30日

財団法人 日本セーリング連盟
会長 河野博文 殿

(財)日本セーリング連盟
レディーズ委員会委員長連盟
会長 佐子鶴子 (印)

事業名 レディース・セーリング体験教室
実施場所 神奈川県三浦郡葉山町松浜及び稲佐沖
実施日時 平成23年7月16日(土) 17日(日)
担当者名 佐子鶴子 (Tel. 042-311-3452)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

《 事業内容及び添付書類 》

- ☆ 実施報告書 (C-2表)
- ☆ 支払明細書 (D表)
- ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
- ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
- ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
- ☆ クルージャー、ディンギー、救助艇借上料各領収書
- ☆ 講師源泉所得徴収税支払領収書
- ☆ 状況写真2枚
- ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出して下さい。

日本財団助成事業

実施報告書

1. 実施要項 (開催案内等・・・助成事業の表示があるもの)

別紙のとおり

2. 参加状況

性別	小学生以下	中・高校生	成人 18~60才	高齢者 65才以上	合計
ディングー					
男性					
女性					
計					
クルーザー					
男性	6	2	29	4	41
女性	0	1	22	2	25
計	6	3	61	6	76

合計	6	3	61	6	76
----	---	---	----	---	----

(別紙参加者名簿)

公認指導員参加人数		公認コーチ参加人数	
-----------	--	-----------	--

3. 業実施状況 (実施状況 (新聞記事などの報道) や参加者の声 (感想))

平成23年7月16日(土)17日(日)神奈川県藤沢市葉山塔にて開催致しました。
 7月16日(土)は横浜海浜研究所講師工藤 心臓蘇生法の講義、AED使用の実体験
 講習を行いました。
 参加者は関東学生水泳連盟女子学生委員、22以上のスタッフと合わせて20名が参加致し
 7月17日(日)9:30開会式を行い、12:30及14:00クルーザーを使用、セーリング体験
 を実施し、当日は晴天、風向南、風速4m~7m 波高0.5mで初心者の方
 にはとても絶好の天気でした。午後からは夕日少組の影響を受け、7月18日に出発した
 予定は17日早目に帰港いたしました。
 参加募集方法は例年通り新聞、FM、インターネット、知人の紹介等と初年度致し
 参加者一同セーリングの楽しさを満喫し、またおこなったことに参加希望という事
 でした。今年も、一般募集の弊、東日本震災による影響で参加者が少ないのでは
 かと懸念をいたしました。昨年の参加者96名より今年76名の参加であり、参加者全員
 セーリング体験を楽しんでいただけた事に安心いたしました。

4. 事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果。）

- ① 小、中学生の参加に対し、昨年同様一日傷害保険に加入し、安全に対処
配慮を充分考慮した。
- ② 船酔い等、その他見合の悪い参加者に対しおたけ看護士を待機させた。
- ③ 救急救命士は心臓蘇生法の講義や、セーリング中等に起こり得る事
事故等の対処として、大変有意義であった。
- ④ 昨年の参加者がセーリングに興味をもち、ルザーのルーに合ったという事
今後も多くの参加者がこの活動にセーリングを続行し、事に支援に
参りてほしい。

5. 今後の課題（今後工夫すべき点など）

- ① 76名の参加者が入会セーリング連盟の会員に加入する事、予可能
でありと承知し、少人数件良いので今後の会員増強に役立っ
よう努力が必要。
- ② 本年は植松副会長の1107-ポート クリーンスロイを参加して頂き、
今年も11回におよびセーリング体験の機会を視察したため、毎年
現セーリング連盟の幹部役員におおむね頂き、参加者にセーリングの楽
しみ、長年の経験談を伝授し、大変普及活動に効果的であった
ように思いました。
- ③ 長年経験したセーリング体験のため、マンリかに、船の損傷や事故を防ぐ
ためにスタッフ同初心に帰って運営方法を再構築する。
- ④ 参加者を継続してセーリングから出来よう、アタケア一です。



レディース委員会 2011年7月16、17日



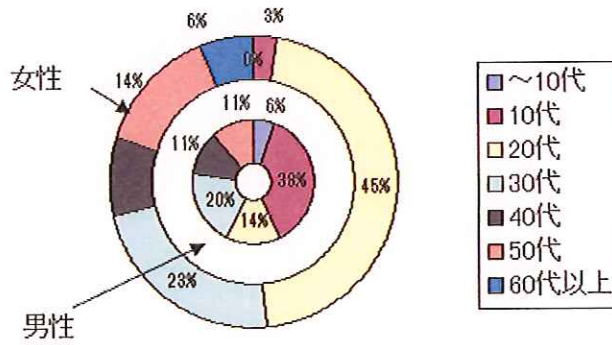
アンケートの概要

実施日 2011年7月16日(土)・17日(日)
 対象 第11回エンジョイセーリングデイ参加者
 方法 イベント終了後現地にて回収
 回収率 55.3% (回収者42名/参加者76名)

参加者数

(単位:人)

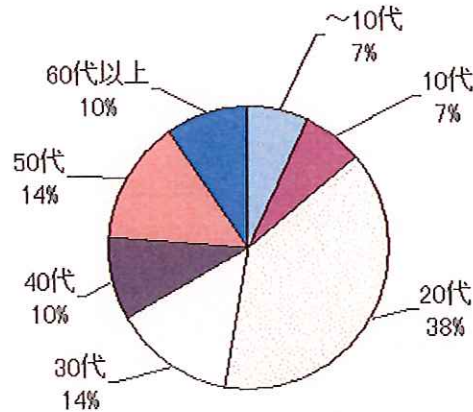
年齢	計	男性	女性
～10代	6	6	0
10代	3	2	1
20代	29	13	16
30代	13	5	8
40代	10	7	3
50代	9	4	5
60代以上	6	4	2
合計	76	41	35



回答者数

(単位:人)

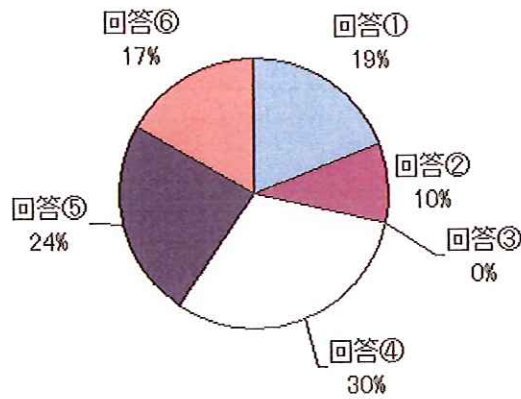
年齢	計	男性	女性
～10代	3	3	0
10代	3	2	1
20代	16	3	13
30代	6	3	3
40代	4	2	2
50代	6	3	3
60代以上	4	3	1
合計	42	19	23



問1/なぜ、セーリング体験教室に参加しようと思いましたか。

(単位:人)

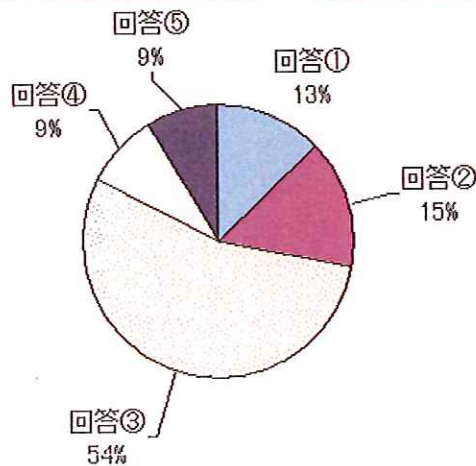
	計	男性	女性
1. 今までヨットに乗ったことがなかったが、乗ってみたかった。	8	4	4
2. 海が好きで、何か海のレジャーを楽しみたいと思ったから。	4	1	3
3. ヨットハーバーの近くに住んでいて、いつもヨットを見ていて乗ってみたかったから。	0	0	0
4. 家族や友人がヨットに乗っているので(誘われて)参加した。	13	2	11
5. 以前にも乗ったことがあったので、また乗ってみたかったから。	10	6	4
6. その他 ・ボートショー。 ・友人の案内。 ・お父さんの友達がいるから。 ・友達にさそわれた。 ・とても楽しかったです。 ・友人の誘い。 ・誘われたので。	7	6	1
合計	42	19	23



問2/参加してみてどう思いましたか。

(単位:人)

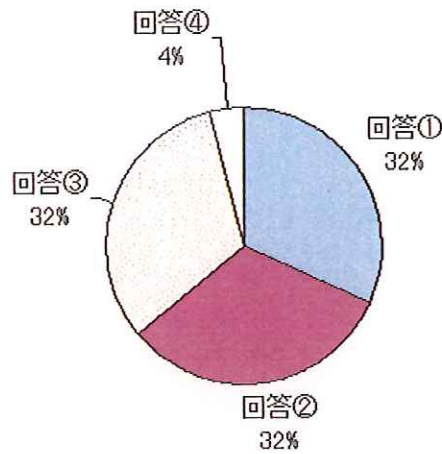
	計	男性	女性
1. 思っていたとおり、爽快だったが、風が強く少し怖かった。	6	1	5
2. 少し不安だったが、船酔いなどは特になかった。	7	4	3
3. このような体験会があったら、友人を誘ってまた参加したい。	25	13	12
4. 自分で操船できるようになりたいと思った。	4	3	1
5. その他 ・色々学べた。 ・風は強かったが、多少ヨットの醍醐味を味わえて大変楽しかった。 ・素敵な船に乗せて頂き、とても楽しかったです！ ・すごく楽しかったですが、船酔いしました。	4	1	3
合計	46	22	24



問3/海を大事にし、汚さないことについてどう思いますか。

(単位:人)

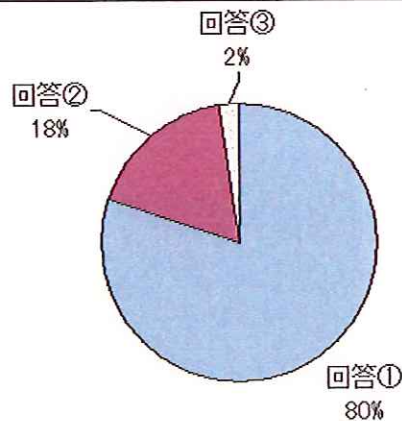
	計	男性	女性
1. 海を汚さないようにしたい。	16	7	9
2. みんなで海を大事にしなければならぬと感じた。	16	6	10
3. 海の生き物のためにも、海をきれいにしなければならない。	16	6	10
4. その他 ・強風で、ゴミや帽子をとばされたので注意が必要だ。 ・さかなが食べられないから大事にする。	2	1	1
合計	50	20	30



問4/日本財団というところがこの体験会にお金を出してくれていることについてどう思いますか。

(単位:人)

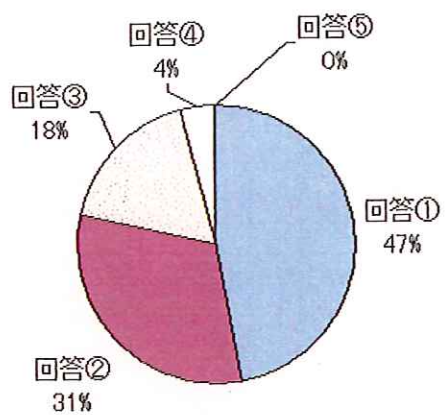
	計	男性	女性
1. 多くの方がヨットに出会い、親しめるのでうれしい。	36	13	23
2. 特に子供達が海に親しんでもらえることに支援してほしい。	8	7	1
3. その他 ・ぼくも自分で大勢のためにお金で何か出来ることがあたらやらなきやって思った。	1	1	0
合計	45	21	24



問5/ヨットのことをもっと多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいと思いますか。

(単位:人)

	計	男性	女性
1. 今回のような体験会がもっと多くの場所で開催されるとよい。	24	12	12
2. もっとメディアでヨットのことが紹介されるとよい。	16	10	6
3. 学校の授業などでも体験できるといい。	9	5	4
4. 市民便りなど、市の方でも広報していただくとうい。	2	2	0
5. その他	0	0	0
合計	51	29	22



© 2011 Japan Sailing Federation



| インフォメーション | 組織 | 加盟団体 | セーリング情報 | レースカレンダー | Web J-
SAILING | フォーラム |

ホーム | 戻る

● レディース委員会 / Ladies Committee

財団法人 日本セーリング連盟 レディース委員会主催

第11回 Enjoy Sailing Day

葉山の海でクルーザーに乗ってみませんか?

2011年7月17日(日)開催

毎年ご好評をいただいています「エンジョイセーリングデイ」を今年も神奈川県葉山町の葉山新港にて開催いたします。このイベントは、(財)日本セーリング連盟レディース委員会が主催し、「多くの皆様にセーリングの楽しさを体験していただき、日本のセーリング人口を増やそう!」を目標に今年で11回目を迎えます。

開催場所の葉山新港は相模湾に面した、晴れた日は伊豆七島、富士山を一望することのできるセーリングの盛んな所です。約9m(30ft)のクルーザーをはじめ、大型クルーザーヨットをご用意いたします。各艇には経験豊富なコーチが同乗しますので、ヨット初心者の方でも安心して楽しんでいただくことができます。夏の葉山でクルーザーに乗って海を満喫して楽しい1日をお過ごしください。

是非この機会にセーリングのすばらしさを体験してみてください!

記

体験セーリングイベント「第11回 エンジョイセーリングデイ」

日 時 : 平成23年7月16日(土) 救急救命講習(講師のみ参加)
平成23年7月17日(日) 体験セーリング
小雨決行(荒天の場合は陸上でのイベントを企画しております)

時 間 : 9:30~16:00予定 (9:00受付開始)

場 所 : 神奈川県三浦郡葉山町堀内50 葉山新港 及び 葉山新港沖
(JR逗子駅、京浜急行新逗子駅より バス10分)

募集人数 : 100名

イベント内容 : クルーザーヨットの体験セーリング・ハーバーパーティー

参加資格 : 小学生以上の男女

参加費用 : 5,000円
小学校1年生~高校3年生 2,500円 (一人につき大人一人が同伴のこと)

申込期間 : 平成23年6月11日(土)必着

※ お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。詳細(抽選の場合の当落結果、服装、持ち物、会場地図等)は6月12日以降、別途ご連絡させていただきます。

参加ご希望の方は、必要事項(住所、氏名、年齢、性別、電話番号、Eメールアドレス)をお書きになり、Eメール、FAXまたは郵便にてお申し込み下さい。

エンジョイセーリングデイ事務局

TEL : 080-4076-7700

FAX : 020-4667-0856 注※1

E-mail : 2011-enjoy-sailing@jsaf.or.jp

URL : <http://www.jsaf.or.jp/ladies/>

住所 : 〒151-0071

東京都渋谷区本町4-38-5 中里英一気付

注※1

上記FAX番号は送信に料金がかかります。

1回の送信あたり40円プラス1都3県内(東京都・千葉・神奈川・埼玉県)/40秒毎10円、
それ以外の地域/30秒毎10円です。

あらかじめご了承ください。

注※2

レディース委員会の主催行事ではありますが、女性のみならず男性も歓迎いたします。



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation



このイベントは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。

© 2011 Japan Sailing Federation

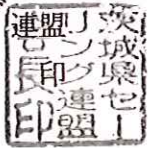
C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成23年11月14日

財団法人 日本セーリング連盟
会長 河野博文殿

茨城県セーリング連盟
会長 錦織孝一



事業名 セーリング体験教室
実施場所 ラクス マリーナ
実施日時 平成23年7月17、18日
担当者名 岩月邦雄 (Tel. 090-3520-7480)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

《 事業内容及び添付書類 》

- ☆ 実施報告書 (C-2表)
- ☆ 支払明細書 (D表)
- ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
- ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
- ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
- ☆ クルーザー、ディンギー、救助艇借上料各領収書
- ☆ 講師源泉所得徴収税支払領収書
- ☆ 状況写真2枚
- ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出して下さい。

日本財団助成事業

実施報告書

1. 実施要項（開催案内等・・・・助成事業の表示があるもの）

別紙のとおり

2. 参加状況

性別	小学生以下	中・高校生	成人 18～60才	高齢者 65才以上	合計
ディンギー					
男性					
女性					
計					
クルーザー					
男性	49	6	40	7	102
女性	42	3	38	1	84
計	91	9	78	8	

合計	91	9	78	8	186
----	----	---	----	---	-----

(別紙参加者名簿)

公認指導員参加人数	4	公認コーチ参加人数	
-----------	---	-----------	--

3. 業実施状況（実施状況〈新聞記事などの報道〉や参加者の声〈感想〉）

(1)例年になく天候に恵まれただけでなく風も5～7m吹き絶好のセーリング日和だった。(例年は暑い中、風が弱く運営上予定どおり進めるのが難しかった。)

2.このため参加者の満足感も大きく試乗会は予定どおり進行した。

3.霞ヶ浦の水質はこのときは非常にきれいだった。透明度2m近くで40年ぶりかと思ったほど。しかし8月以降アオコが異常発生し土浦港界隈は不快な臭気が漂っている。

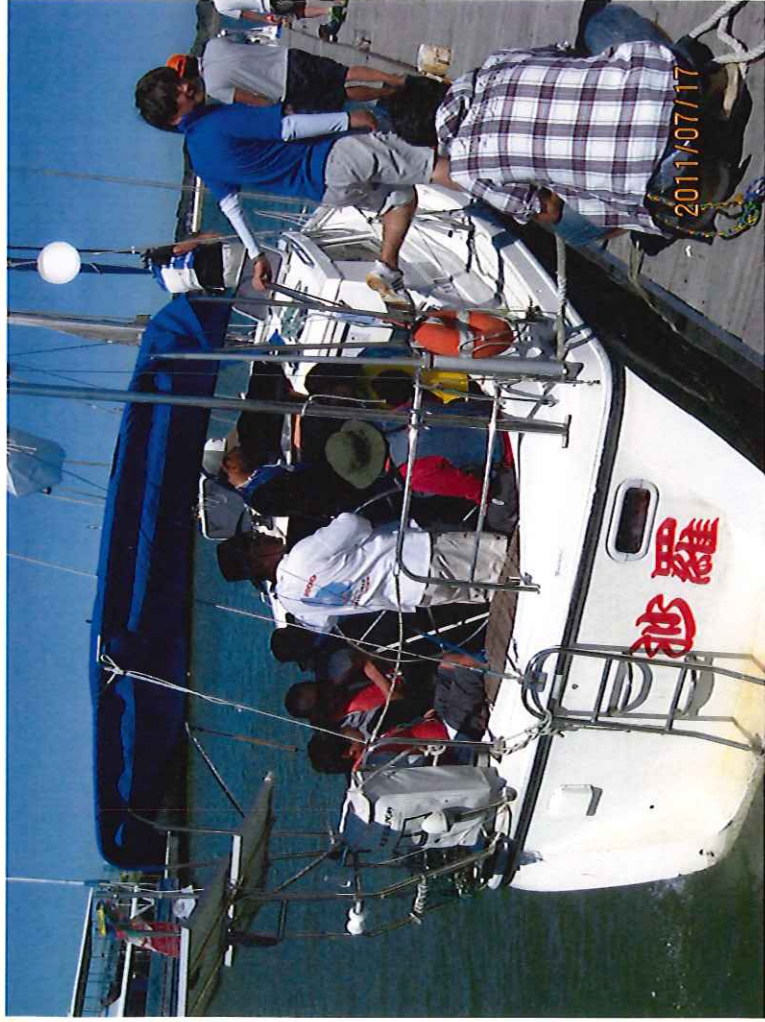
C-3表

4. 事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果。）

- (1)事業はラクスマリーナの施設を借りて実施したが同マリーナの行事とも混乱することなくスムーズに行えた。
- (2)プログラムとテキストを1冊にまとめた。特にスタッフが自分の担当業務を理解しやすいよう名前、場所、時間を明確に記載した。
- (3)ロープワークはテキストだけでなく自分を落水者に見立てて「自分を舫える長さのロープ」を参加者一人ひとりに与えてその方法を教えた。

5. 今後の課題（今後工夫すべき点など）

- (1)このようなイベントを20年以上続けてきた。
とかくマンネリに陥りやすくなるので運営を段々若い人達に引き継いでいくことが必要になる。
- (2)今回も幸い20代～60代まで広い年齢層が役員となり各々の持ち場を担当した。



セーリング体験教室

2011年7月17、18日 ラクスマリーナ


茨城県セーリング連盟

C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成 23 年 8 月 5 日

財団法人 日本セーリング連盟
会 長 河 野 博 文 殿

愛媛県セーリング連盟
会 長 西 田 昭 二 

事業名 セーリング体験教室
実施場所 マリンパーク新居浜
実施日時 H23.7.23～7.24
担当者名 大槻 映幸 (TEL 089-951-6000)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

- 《 事業内容及び添付書類 》
- ☆ 実施報告書 (C-2表)
 - ☆ 支払明細書 (D表)
 - ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
 - ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
 - ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
 - ☆ クルーザー、ディンギー、救助艇借上料各領収書
 - ☆ 講師源泉所得徴収税支払領収書
 - ☆ 状況写真2枚
 - ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出して下さい。

日本財団助成事業

実施報告書

1. 実施要項（開催案内等・・・・助成事業の表示があるもの）

別紙のとおり

2. 参加状況

性別	小学生以下	中・高校生	成人 18～60才	高齢者 65才以上	合計
ディンギー					
男性	29	2			31
女性	27	4			31
計	56	6			62
クルーザー					
男性					
女性					
計					

合計	56	6			62
----	----	---	--	--	----

※ ディンギーとクルーザーに両方体験した(別紙参加者名簿)

公認指導員参加人数	7	公認コーチ参加人数	3
-----------	---	-----------	---

3. 業実施状況（実施状況〈新聞記事などの報道〉や参加者の声〈感想〉）

ジュニアセーリング体験の様子は、地元新居浜のケーブルテレビ
（ハートネットワーク）の取材に応じて、放送されました。

参加した子供たちは、初めて乗るヨットに怖がる事なく、楽しく体験
する事が出来ました。

地元新居浜のジュニアヨットクラブの紹介も行い、興味のある子供も
何人が説明を聞いていました。

4. 事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果。）

今回のセーリング体験において、募集方法を工夫しました。
新居浜市教育委員会の後援を頂き、新居浜市内の小中学校に
募集のチラシを児童分配布しました。

OPやスナイプ、クルーザーを体験用ヨットとして、使用し、
いろいろな種類のヨットを体験させました。

また、ケーブルテレビに取材に来てもらい、セーリングのPRを
行いました。

新居浜ジュニアヨットクラブへの勧誘も行い、入会者も出てくる事
が予想されます。

5. 今後の課題（今後工夫すべき点など）

今回のセーリング体験は成功に終わりました。2日間行いま
したが、初日に途中から風が無くなり、セーリングには厳しい
状況になりました。クルーザーに乗る子供たちは、船酔いしたし
ました。

風の無い時に子供たちを楽しませれる様な（例えばバナボート）物
を準備しておくべきだった。

ケーブルテレビだけでなく、テレビ局にも取材に来てもらえり様にも
お願いすべきであった。

日本財団助成事業 セーリング体験

7月23日(土)



7月24日(日)



愛媛県セーリング連盟 マリンパーク新居浜



ジュニアセーリング体験

～風を感じてみよう～

- 【共 催】 日本セーリング連盟、愛媛県セーリング連盟
 【後 援】 愛媛県教育委員会、新居浜市教育委員会、愛媛新聞社
 【日 時】 第1回 平成23年7月23日(土) 10:00～15:30
 第2回 平成23年7月24日(日) 10:00～15:30
 【会 場】 愛媛県新居浜市垣生3丁目乙324 マリンパーク新居浜
 【募集内容】 第1回 30名(小学3年生～小学6年生)
 第2回 30名(小学3年生～小学6年生)
 ※参加希望が多い場合抽選し、抽選結果を電話にて行います。
 【申込〆切】 平成23年7月11日(月)
 【申込方法】 申込書を下記まで郵送またはFAXでお申し込みください。
 〒791-8071 松山市松ノ木1丁目7-35 大槻 映幸 宛
 FAX (089) 974-1850
 【その他】 当日の天候により内容が変更する場合があります。その場合、当日の8:30
 に決定し、参加者の皆様に連絡します。
 昼食は各自ご用意ください。
 各自着替えをご用意ください。

【このような問い合わせ】

泳げなくても大丈夫? ⇨ 海の上ではライフジャケットを着用するので溺れる心配はありません。レスキューボートも監視します。

どのようなことするの? ⇨ ヨットを使って遊びながら、ヨットの操船を学びます。

【問い合わせ先】 080-2981-7135 担当：大槻まで

参加申込書

氏名		学年	
生年月日	平成 年 月 日	性別	男 女
住所	〒	電話番号 (携帯)	
保護者名			
参加希望日	第1回	第2回	希望日のどちらかに丸印

C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成24年3月1日

財団法人 日本セーリング連盟
会長 河野博文 殿

福岡市西区外戸3丁目58-1
福岡県セーリング連盟
会長 結城威
電話 882-2151

事業名 セーリング体験教室
実施場所 福岡市ヨットハーバー
実施日時 平成23年7月23日(土)～24日(日)
担当者名 志波 元志 (TEL 090-8354-0539)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

《 事業内容及び添付書類 》

- ☆ 実施報告書 (C-2表)
- ☆ 支払明細書 (D表)
- ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
- ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
- ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
- ☆ クルーザー、ディンギー、救助艇借上料各領収書
- ☆ 講師源泉所得徴収税支払領収書
- ☆ 状況写真2枚
- ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出して下さい。

日本財団助成事業

実施報告書

1. 実施要項（開催案内等・・・助成事業の表示があるもの）
別紙のとおり

2. 参加状況

性別	小学生以下	中・高校生	成人 18～60才	高齢者 65才以上	合計
ディンギー					
男性	5	6	7		18
女性	6	5	6		17
計	11	11	13		35
クルーザー					
男性	18	13	25	1	57
女性	15	10	17		42
計	33	23	42	1	99
合計	44	34	55	1	134
(別紙参加者名簿)					
公認指導員参加人数	0		公認コーチ参加人数	1	

3. 業実施状況（実施状況（新聞記事などの報道）や参加者の声（感想））

「市政だより」で募集し、天候に恵まれ老若男女多く参加。
クルーザー5隻、ディンギー5隻も使い、午前、午後の
パートに分けて講集会を実施した。
乗船前は講師による安全指導やローワーク指導を行
った。
ディンギーは、1回 60分程度、クルーザーは 120分
程度の乗船時間ではあったが、参加者は殆どの方
が多く、大変喜んでいた。

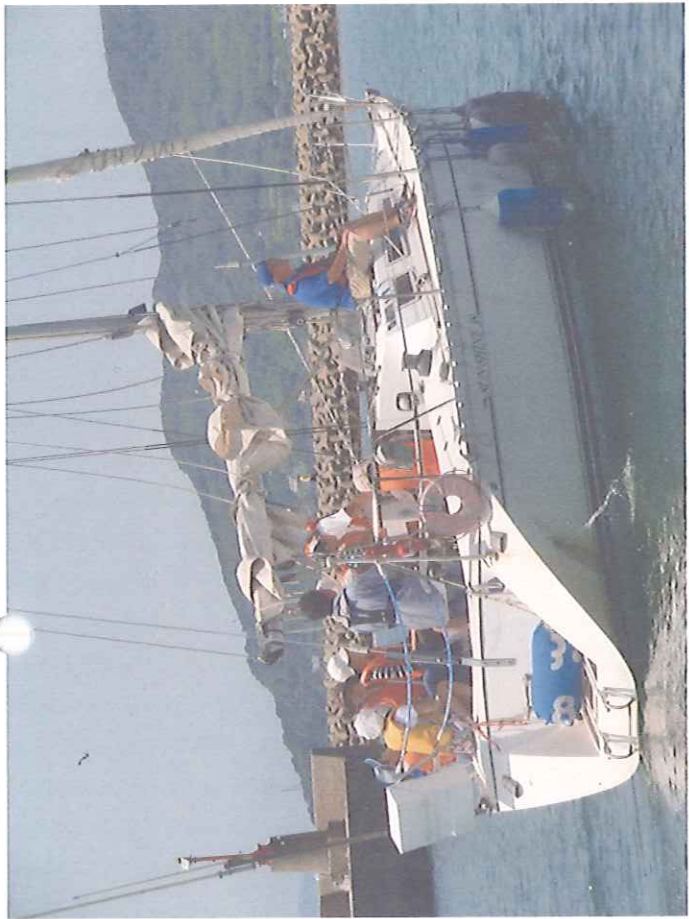
C-3表

4. 事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果。）

ヨット体験討乗が出来るという内容で「市政だより」に募集
広告を掲載した。結果、定数や友人同志での多くの参加が
あった。初めてのロープワークは参加者には好評であった。福岡
はベテランの講師も多く、参加者の気付けも十分であった
為、参加者は、セーリングの楽しさを満喫できたと思う。
今後とも継続して、セーリング体験会を行い、ヨットに興味を
持ってもらうようにしたい。

5. 今後の課題（今後工夫すべき点など）

- ① この体験教室をきっかけに、その後セーリング活動につながる
参加者は少ない。ジュニアヨットクラブ他、ヨットクラブの紹介
も必要である。
- ② 「市政だより」の他の告知方法も今後は考がえていかなら
ない。
- ③ 参加者に対する、継続的な討乗会の案内。



セーリング体験参加者アンケート

(財)日本セーリング連盟では、もっと多くの方にヨット知っていただき、海を、自然を楽しんでいただきたいと思います。

今後の取り組みの参考としたいので、アンケートのご協力をよろしくお願い致します。(一番思っていること、当てはまるものを一つ選んでください)

- 1 なぜ、セーリング体験教室に参加しようと思いましたか。
 - ①今までヨットに乗ったことがなかったが、乗ってみたかった。 17名
 - ②海が好きで、何か海のレジャーを楽しみたいと思ったから。 5名
 - ③ヨットハーバーの近くに住んでいて、いつもヨットを見ていて乗ってみたかったから。 1名
 - ④家族や友人がヨットに乗っているの(誘われて)参加した。 2名
 - ⑤以前にも乗ったことがあったので、また乗ってみたかったから。 7名
 - ⑥その他 ()

- 2 参加してみてどう思いましたか。
 - ①思っていたとおり、爽快だったが、風が強く少し怖かった。 3名
 - ②少し不安だったが、船酔いなどは特になかった。 3名
 - ③このような体験会があったら、友人を誘ってまた参加したい。 14名
 - ④自分で操船できるようになりたいと思った。 11名
 - ⑤その他 (楽しかった)

- 3 海を大事にし、汚さないことについてどう思いますか。
 - ①海を汚さないようにしたい。 17名
 - ②みんなで海を大事にしなければならぬと感じた。 6名
 - ③海の生き物のためにも、海をきれいにしなければならぬ。 9名
 - ④その他 (海を大事にしないと津波がくる。)

- 4 日本財団というところがこの体験会にお金を出してくれていることについてどう思いますか。
 - ①多くの人(ヨット)に出会え、親しめるのでうれしい。 20名
 - ②特に子供達が海に親しんでもらえることに支援してほしい。 11名
 - ③その他 (・もっとやってほしい。
・被災地の子供達も海で遊んでほしい。)

- 5 ヨットのことをもっと多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいと思いますか。
 - ①今回のような体験会がもっと多くの場所で開催されるとよい。 15名
 - ②もっとメディアでヨットのことを紹介されるとよい。 5名
 - ③学校の授業などでも体験できるといい。 10名
 - ④市民便りなど、市の方でも広報していただくとよい。 3名
 - ⑤その他 ()

C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成23年8月14日

財団法人 日本セーリング連盟
会長 河野博文 殿

千葉県セーリング連盟
会長 荒川 昇



事業名 セーリング体験教室
実施場所 千葉市稲毛ヨットハーバー
実施日時 平成23年7月30日(土) 31日(日)
担当者名 斉藤 威 (TEL090-2528-3873)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

《 事業内容及び添付書類 》

- ☆ 実施報告書 (C-2表)
- ☆ 支払明細書 (D表)
- ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
- ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
- ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
- ☆ クルーズー、ディンギー、救助艇借上料各領収書
- ☆ 講師源泉所得徴収税支払領収書
- ☆ 状況写真2枚
- ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出して下さい。

日本財団助成事業

実施報告書

1. 実施要項（開催案内等・・・・助成事業の表示があるもの）

別紙のとおり

2. 参加状況

性別	小学生以下	中・高校生	成人 18～60才	高齢者 65才以上	合計
ディンギー					
男性	6	34	6	1	47
女性	4	28	4		36
計	10	62	10	1	83
クルーザー					
男性	6	34	6	1	47
女性	4	28	4		36
計	10	62	10	1	83
合計	10	62	10	1	83
(別紙参加者名簿)					
公認指導員参加人数	4	公認コーチ参加人数	1		

3. 業実施状況（実施状況〈新聞記事などの報道〉や参加者の声〈感想〉）

本年3月におこった震災により、会場の稲毛ヨットハーバーも被災し、セーリング体験会や同時開催の全国中学生ヨット選手権大会の開催も危ぶまれたが、関係者の協力で体験会が開催できた。

天候が不安定で、土曜日は途中で大雨や雷に見舞われたが、無事事業は行われた。

今回のセーリング体験会では、全国中学校ヨット選手権で頑張っている生徒の様子を見たり声援したりすることで、セーリングの素晴らしさを感じてもらおうこととしたが、体験会の参加者からはヨット部の部活にも参加したいという生徒もいたりするほどであった。

4. 事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果。）

セーリング体験会の広報については、地元の千葉テレビや FM 放送での取材を受け、その中でもセーリングの楽しさをアピールすることが出来た。

また、体験会の準備は、全国中学校ヨット選手権大会と一緒に行われたが、セーリング体験では生徒の父兄や先生もセーリングを楽しみ、レースを観戦するなどにより、セーリング競技の理解が得られた。

今後のセーリングの普及には、学校の教育現場での理解が必要で、これにより普及活動の幅が大きく広がるものと思われる。

5. 今後の課題（今後工夫すべき点など）

今回は学校単位での体験会の参加で、限られた時間での体験だったが、体験会に参加した生徒の中には引き続きセーリングの練習もしたいとのことだったので、その受け入れ態勢などの確保も考えていく必要があるようだ。

また、父兄の中にも特に大型艇の居住性の良さに感嘆し、数時間のセーリング体験ではなく、数日にわたる外洋クルージングなどの計画があれば参加したいとの意見もあった。

いずれにしても、単なる体験会にとどまらず、じっくりセーリングを味わう体験会の企画が望まれているようなので、その工夫が必要である。

クリーンアップ作戦



ディングー試乗



クルーザー体験



参加者



セーリング体験参加者アンケート

(財)日本セーリング連盟では、もっと多くの方にヨット知っていただき、海を、自然を楽しんでいただきたいと思います。

今後の取り組みの参考としたいので、アンケートのご協力をよろしくお願ひします。(一番思っていること、当てはまるものを一つ選んでください)

- 1 なぜ、セーリング体験教室に参加しようと思ひましたか。
 - ①今までヨットに乗ったことがなかったが、乗ってみたかった。
 - ②海が好きで、何か海のレジャーを楽しみたいと思つたから。
 - ③ヨットハーバーの近くに住んでいて、いつもヨットを見ていて乗ってみたかったから。
 - ④家族や友人がヨットに乗っているので(誘われて)参加した。
 - ⑤以前にも乗ったことがあったので、また乗ってみたかったから。
 - ⑥その他 ()

- 2 参加してみてもう思ひましたか。
 - ①思つていたとおり、爽快だったが、風が強く少し怖かった。
 - ②少し不安だったが、船酔いなどは特になかった。
 - ③このような体験会があつたら、友人を誘つてまた参加したい。
 - ④自分で操船できるようになりたいと思つた。
 - ⑤その他 ()

- 3 海を大事にし、汚さないことについてどう思ひますか。
 - ①海を汚さないようにしたい。
 - ②みんなで海を大事にしなければならぬと感じた。
 - ③海の生き物のためにも、海をきれいにしなければならぬ。
 - ④その他 ()

- 4 日本財団というところがこの体験会にお金を出してくれていることについてどう思ひますか。
 - ①多くの人ヨットに出会え、親しめるのでうれしい。
 - ②特に子供達に海に親しんでもらえることに支援してほしい。
 - ③その他 ()

- 5 ヨットのことをもっと多くの人に知ってもらふにはどうしたらいいと思ひますか。
 - ①今回のような体験会がもっと多くの場所で開催されるとよい。
 - ②もっとメディアでヨットのことを紹介されるとよい。
 - ③学校の授業などでも体験できるといい。
 - ④市民便りなど、市の方でも広報していただくとよい。
 - ⑤その他 ()

男・女 年齢 (才)

ご協力 ありがとうございます。



日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

2011千葉ジュニア・セーリング体験 開催要項

1 開催要旨

アテネオリンピックでは、千葉市立磯辺第一中学時代に地元ジュニアクラブやヨット部の部活でセーリングを楽しんできた関一人選手が銅メダルを獲得しました。

このセーリングは、青少年の健全な心身を育む海洋スポーツであり、多くの小中学生と父兄、そして教職員に体験して頂き、セーリングの理解と普及を図る目的に開催するものです。

あわせて、豊かな自然環境や豊富な水産資源を有している東京湾を理解し、これからも海をきれいに大切にすることをもち続けて頂くことを願って開催するものです。

2 主催 (財)日本セーリング連盟

3 主管 千葉県セーリング連盟

4 後援 (財)千葉市スポーツ振興財団

5 期日 平成23年7月30日(土)

9:00 団体参加集合、開会式、着替え

9:30 オリエンテーション

10:00 セーリング体験(小型艇、大型艇に分乗体験)

12:30 帰港、着替え、閉会式

12:30 一般受け付け、着替え

13:00 オリエンテーション

13:30 セーリング体験(小型艇、大型艇に分乗体験)

15:30 着替え、休憩

16:00 「セーリングの楽しさ、おもしろさ」講話

16:30 閉講

平成23年7月31日(日)

9:30 一般受け付け、着替え

10:00 オリエンテーション

10:30 セーリング体験(小型艇、大型艇に分乗体験)

12:30 帰港、着替え、昼食、休憩

13:30 「セーリングの楽しさ、おもしろさ」講話

14:00 閉講

- 6 会 場 千葉市稲毛ヨットハーバー
261-0012 千葉市美浜区磯辺 2-8-1
TEL 043-279-1160
FAX 043-279-1575
- 7 募 集 県内の小・中学生と父兄及び小・中・高校教職員
7月30日、31日いずれも60人まで
- 8 参加費 無料
- 9 参加申し込み
「稲毛ヨットハーバー」窓口で受け付けています。電話でも受け付けます。
下記の(1)(2)をお知らせください。
(1) 参加日の別 ①7月30日のみ、②7月31日のみ、③両日
(2) 小・中学生：住所、氏名、学校名、学年、連絡先(電話・FAX)
父兄：住所、氏名、年齢、連絡先(電話・FAX)
教職員：住所、氏名、年齢、学校名、連絡先(電話・FAX)
- 10 問い合わせ先
千葉県セーリング連盟 セーリング体験事務局 齊藤 威
TEL 090(2528)3873
- 11 参加申し込み期限
平成23年7月22日(金)まで
- 12 その他 昼食及び飲み物は各自で用意して下さい。
(レストラン、売店、自動販売機(飲み物)もあります。)
服装は濡れても良い服装で、日焼けや怪我の防止のため、帽子、
長袖、長ズボン、スニーカーで参加されることがお勧めです。



「この体験会は、競艇の交付金による日本財団の
助成金を受けて実施します」